

### 【私たちのインターハイ～大会を支える高校生活動～】

今年度石川県にて開催されるインターハイにおける「高校生活動」に取り組んでいただいている、金沢市立工業高等学校建築科の皆さんにインタビューをさせていただきました。

「高校生活動」とは、インターハイにおいて開催地の高校生が、大会の成功に向けてスポーツを支える立場となって、大会の準備や運営に携わるものです。



今回、金沢市立工業高校の皆さんには、金沢市にて開催される剣道競技にて、団体戦出場校が試合の際に自陣に掲げるプラカードを制作していただきました。昨年度の建築科3年生が課題研究として制作したものを引継ぎ、本年度の建築科3年生が同様に課題研究としてその完成度を高め、インターハイ出場校のためにプラカードを仕上げてくれています。8月開催の本番に向けて、現在最終工程に入っているところです。

○「高校生活動」に取り組んでくれている建築科の皆さんに、これまでのプラカード制作に込めた思いなどを聞いてみました。

#### 【成村くん】

〈プラカード制作を通して感じたことなどを教えてください〉

暑い中、放課後の時間も使いながら頑張って作ってきました。丹精込めて作ったので、これを使って頑張りたいです。

〈市立工業高校剣道部が代表校ということについて一言お願いします〉

剣道部は勉強もある中で部活動と両立してインターハイ出場を決めて本当にすごいと思います。大会ではぜひ代表として頑張りたいです。



#### 【山本くん】

〈地元代表校としてインターハイに出場する自分の学校の剣道部へ一言お願いします〉

全国の舞台はいつもと雰囲気も違うと思うけれど、精一杯頑張りたいです。



#### 【中嶋さん】

〈全国から金沢へ集まってくる出場校の皆さんへ一言お願いします〉

去年の3年生から受け継いで、自分たちの思いも込めて頑張ってきたプラカードに学校名を掲げて、それぞれの学校、応援してくれる人たちの思いも背負って頑張りたいです。

〈自分の学校の剣道部の皆さんへ一言お願いします〉

強い相手がいても頑張りたいです、応援しています！

【森田くん（取材中偶然通りかかった剣道部の生徒です。県予選では団体戦の大將を務め、個人戦では優勝をしてインターハイ出場を決めているすごい生徒です）】

〈自分の学校の建築科のみんなが「高校生活動」を通して支えてくれています。それも含めてインターハイへの思いを教えてください〉

自分の学校のみんなに応援されていることは本当に嬉しいです。金沢市立工業高校の代表として、そして石川県の代表として、目標は団体・個人とも日本一です。



【池田さん】

〈プラカードに込めた思いを教えてください〉

去年の3年生から受け継ぎ、みんなで頑張って作ってきました。大会に出場する人たちにもその思いをつないで頑張ってほしいです。



【古澤くん】

〈プラカード制作を振り返って一言お願いします〉

本当に長い時間をかけてみんなががんばって作ってきました。自分たちが込めた思いをもって、出場する学校の皆さんに頑張ってもらいたいです。

【松田さん】

〈地元代表校の監督として出場する建築科の中谷先生へ一言お願いします〉

中谷先生から教えてもらったおかげで素晴らしいプラカードを作ることができました。中谷先生には試合の時に私たちが思いを込めたこのプラカードを使って頑張ってほしいですし、このプラカードを掲げて優勝してきてほしいです。中谷先生に、私たちが作ったプラカードを表彰式でも使ってほしいです。応援しています。



○最後に、建築科教諭の中谷竜（なかにりゅう）先生にお話を伺いました。

〈昨年度から今回のインターハイに向けた「高校生活動」にご協力いただきありがとうございました。高校生活動を振り返って一言お願いします。〉



地元金沢市で開催されるインターハイのために協力できる機会を与えてもらったことに感謝しています。今回のプラカード制作にあたって生徒たちと話し合い、「使ってもらうことを考えて」制作に取り組んでいこうということを第一にしてきました。昨年度の3年生が作ってきたプラカードとそこに込めてきた想いを現3年生が受け継ぎ、それを改善する形でここまで取り組んできてくれました。出場校への想いがこもったものになっていると思います。

〈先月の県予選の結果、金沢市立工業高校は男子団体の部と男子個人の部において地元石川県の代表校となりました。中谷先生ご自身が出場校監督として地元インターハイにてこのプラカード掲げて試合に臨むこととなりますが、今のお気持ちを教えてください。〉

プラカード制作のお話をいただいたときから、必ず自分たちがこのプラカードを使うんだという思いで建築科の生徒との「高校生活動」、そして剣道部員との日々の活動に取り組んできました。建築科の生徒たちが一生懸命プラカード制作に取り組む姿は大きな支えとなりました。昨年度はインターハイが中止となり、その後も遠征等も難しく、休校や活動制限もありました。しかし、何が起こっても想定内、制限があってもそれが普通だと考えて乗り越えてきました。多くの人に支えていただきながら、剣道部のみんなと一緒に一日一日を大切にし、お互いが高め合う稽古を続けてきたことが、今につながっていると思います。仲間や支えてくださっている人たちのために、開催地の代表として優勝を目指します。

